

悪天候も何のその！

キッズトライアスロン～過去最高の参加者！

レースコンディション	気温	26℃
	水温	25.1℃
	湿度	68%

今年で6回目を迎える「成田キッズ&ジュニアトライアスロン大会」ですが、1昨年から併催している「エクストラアクアスロン大会」も3回目を迎え、いずれの競技種目も過去最高の参加者（応募者総数：186名／当日エントリー数：173名／応援観戦者138名）で7月22日無事終了しました。

当日は朝からシトシトと梅雨独特の空模様。前日までは何とか雨も降ることなく持ち答えてくれていたのが、「何でこの日だけ！」と思われる天候。選手受付が始まるころは雨脚も強くなり、受付担当のボランティアは四苦八苦。ようやく受付が終了するころになって、雨も小止み状態。午前8時から開会式、競技説明、と続き、気のはやる選手は早速ウォーミングアップ。

午前8時30分、最初の種目の小学校低学年・男子の部〔参加者：36名〕がスタート。水しぶきを上げるその姿に若鮎の姿を想像するのは私だけでしょうか？観客の親御さん達もエキサイト。ビデオカメラを抱えて選手と一緒に走り出す人も。バイクランジションまでのミニランで勢いあまってコケル選手も。レース始まってすぐバイクで事故発生？の一報があり、一瞬ヒヤッとしましたが、「怪我の程度は擦り傷程度。元気よくレースに復帰している」旨の報告を受け、ホッと一息。引き続き、小学校低学年・女子の部〔参加者：27名〕。高学年男子〔参加者：40名〕・女子〔参加者：24名〕と次々にスイムをスタート。大人顔負けのタイムを打ち出す選手もいました。バイクは通学用自転車あり、MTBあり、トライアスロン仕様車あり、と千差万別。トライアスロンを初めて経験する選手も多く、ヘルメットを前後間違えたり、バイクラックからはずしてすぐに乗車する選手もいたり、とランジション担当はそのチェックにおおわらわ。参加選手に対する事前の説明が少々不足していたことが反省事項としてマーシャルからも指摘を受け、この面での改善が課題として残りました。さて、バイクを終了し、ランにはいると、おりからの霧雨で、通称「林間コース」は心地よい走りでも全選手とも気持ちよく走り抜け、フィニッシュでは満面スマイルの晴れ姿と相成りました。キッズの部は、これまで最高の合計120名の参加となり、ひとりもDNFはいませんでした。

午前9時過ぎ、キッズの部のレースがほぼ終了。ジュニア（中学生）の部がスタート。プールも25mから50mに移動。エントリー数は、男子6名。女子3名。完走すれば全員表彰！おまけにメダルがもらえるという美味しい部門。第1回目から参加している選手もいて、少年から大人へと成長する姿に月日の経過を感じました。さすがに中学生ともなると、スイムも、バイクも、ランも小学生とは違い、様になっている選手も散見！

最後の種目、アクアスロンには男子25名、女子12名の合計37名がエントリー。今年は9時30分まで全コース開放となったことから、37名+特別参加のトライアスロンセミナー講師・原田雄太郎選手も含め一斉スタート。比較的ゆっくりしたスタートでしたがトップは6分強でスイムアップ！ランシューズに履き替え、ランコースに飛び出して行きました。次々にスイムをアップし、全選手がランコースに向かったのが午前9時30分ちょっと前。一般開放に間に合ってホッとしました。アクアスロン・ランコースは、林間コースとバイクコースを周回するコースレイアウト。スタート前に入念にコース説明を受けていたことから周回ミスをする選手はいませんでした。昨年の反省を踏まえ、ラン折り返し地点にも給水所を設けましたが、おおむね好評でした。最後の選手がフィニッシュしたのは午前10時を少し回ったところ。日ごろ「メタボリックシンドローム？」に悩んでいるお父さん方もこの日ばかりはアスリート気分！子供さんの目にもきっと頼もしい姿に見えたことでしょう。

成績発表に先立ち、昨年もセミナー講師としてレースにも特別参加いただいた原田雄太郎氏（埼玉在住）によるトライアスロンセミナーを開催。小学生から大人まで幅広い参加者約40名が熱心に受講。将来のオリンピック選手を目指す若い息吹を感じさせました。

成績発表では、1位～6位までが表彰対象。壇上で見せてくれた晴れがましい子供たちの顔が印象的でした。協賛各社から寄せていた抱いたグッズをメダルと一緒に輪やしますと一斉にカメラの放列！この模様は成田ケーブルテレビで近々放映されるとのことです。乞うご期待！

今大会、バイクでの落車以外、特別大きな事故もなかったことは主催者としてうれしいことでしたが、一方、若干のトラブル、例として、トランジション内の指定された場所にきちんと置かれていない自転車があったこと、上半身裸で走行していた選手がいたこと、基本的なルールがマーシャル間で徹底してなかったことなどが報告されていきましたので、来年の大会に向けて改善を図る必要があります。

大会が終了するころには悪天候も持ち直し、参加者はそれぞれに大会の成果を胸に持ち帰りました。きっと練習を重ね、来年は一回り大きくなった姿を見せてくれることでしょう！

文責 園川〔事務局〕

なお、大会の様子は次のサイトで写真が見れますよ。

→ http://putiton.co.jp/putiton_new/